



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

兵庫県は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

作成年月日

令和5年1月12日

作成部課室名

福祉部児童課

児童養護施設児童の自立に向けた 企業と連携した就職支援セミナーの開催



【問い合わせ先】

福祉部 児童課 TEL 078(362)4224

児童養護施設児童の自立に向けたスキルアップ・プロジェクト

兵庫県児童養護連絡協議会
に委託して実施



- 児童養護施設を退所した社会的養護経験者(ケアリーバー)は、頼れる保護者がいないことも多く、退所後の生活において課題や不安を抱えている者も少なくない。
- そのため、退所前から基礎的知識習得や就職支援、相談の仕方などステップアップを図るセミナーを開催。

ステップ1

自立支援セミナー

令和4年8月3日

高校生 / 退所後の方

【リアル金銭教育】

退所後にかかるお金はいくら？

- ◎ 社会生活を送るために必要な知識を身に付ける
- ◎ 施設職員と将来のことを話すきっかけ作りとする



ステップ2

就職支援セミナー

令和5年1月28日

高校生 / 退所後の方

- ①先輩体験談
- ②就職サロン

- ◎先輩体験談を通して、退所後の生活を具体的にイメージする機会のひとつとする
- ◎「働く」を考えながら「仕事」を知る



職場見学

令和5年3月

希望者(主に高1,2)が就職サロン参加企業の職場を見学

- ◎実際に職場を見学することで、将来の進路を具体的に考える

退所後相談「こもれび」

- ◎県児童養護連絡協議会に配置した生活相談支援担当職員による退所児童への情報提供・相談助言・関係機関との連絡調整を実施
- <相談方法>メール、LINE、来所(予約) ※平日9時~17時
<場 所>兵庫県児童養護連絡協議会(兵庫県福祉センター6階)

ステップ3

退所直前セミナー

令和5年2月12日

高校3年生のみ

- ①退所後の手続き(行政手続き、公共料金、賃貸等)
- ②相談の仕方
- ③トラブルへの対応方法等

- ◎退所に向けて、社会生活を送るためのより具体的な知識を身に付ける
- ◎自立後に困った時には一緒に考える場所や人がいることを伝える機会とする

児童養護施設児童の自立に向けた企業と連携した就職支援セミナーの開催

目的

兵庫県初の試みとして、児童養護施設の児童等を対象に、退所児童の自立に向けた取組の趣旨に賛同いただいた企業の協力を得て直接対話による就職支援セミナーを開催する。

日時

令和5年1月28日(土)13時半～16時

場所

あすてっぷKOBESeminar室1・2
(神戸市中央区橘通3-4-3)

対象

- ①児童養護施設で生活している高校生以上の方(就職希望者・進学希望者)
- ②県内(神戸市を除く)の児童養護施設退所者

人数

約50人(児童約40人ほか施設職員)

内容

- ①先輩体験談(3名(パティシエ、土木、工場))
- ②就職サロン(4社(WEB・デザイン、福祉、飲食業、機械))

アンケート調査結果

児童養護施設の高校生88名にアンケート調査を実施

<興味がある職種(上位)>

- ・IT関係(15)、ゲーム(10)
- ・児童福祉系専門職(12)
- ・飲食(12)、料理人(11)
- ・工場関係(9)

<聞きたいこと(上位)>

- ・仕事の内容(16)
- ・大変なこと、やりがい(9)
- ・給料・年収(7)
- ・身につけておくべきこと(5)

①先輩体験談

- ◎施設職員と身近な先輩(退所児童)の対話形式で退所後の生活・仕事、困ったことなどエピソードを話してもらう。
- ◎「どのように一人暮らしをしているのか」「仕事を頑張ってきたのか」などを聞くことで、退所後の生活をイメージする。



②就職サロン

- ◎子どもたちが興味のある仕事に就いている人を会場に招き、グループに分かれて対話形式で話をしてもらう。
- ◎「なぜこの仕事に就いたのか」「仕事に就くためにたどった進路」「この仕事の魅力」などを聞くことで、将来のことを楽しく、選択の幅を広げて考えられるようにする。

協力企業

- 有限会社ユキタケ印刷(稲美町)【WEB・デザイン】
- 社会福祉法人すいせい(神戸市)【福祉】
- 菊屋蔵(たつの市)【飲食業】
- 廣本産業株式会社(神戸市)【機械】

興味を持った仕事の職場へ

職場見学